

# 「東福寺地区バリアフリー移動等円滑化基本構想連絡会議」 ～鳥羽街道駅のバリアフリー化等に関する第2回連絡会議～

## 摘 録

日時：平成30年11月9日（金）

午後2時から4時まで

場所：伏見区役所深草支所大会議室2・3（4階）

1. 開会：京都市都市計画局歩くまち京都推進室土木技術担当部長 川越順二から挨拶

### 2. 議事

(1) 現地調査を踏まえた御意見に対する事業者等の考え方について

《会議資料》資料1 現地調査を踏まえた御意見に対する事業者等の考え方

資料2 鳥羽街道駅及び周辺道路のバリアフリー化事業の素案についての変更内容

《質疑応答》●：委員等からの御意見      △：事務局等からの回答

● 鳥羽街道駅のホーム上のベンチは線路と垂直に向きを変えて設置できないのでしょうか。

鳥羽街道駅のホームの鉄柱はバリアとなり課題と考えます。回答内容に点字ブロックや誘導ブロックの配置についてはバリアフリーガイドラインに準拠しているとなっておりますが、バリアフリーになっているようには見えません。どのように準拠しているのでしょうか。

△ 当社でもホームの幅が十分に広い他の駅で、ベンチを線路と垂直に設置しているところもありますが、鳥羽街道駅はホームの幅がそれほど広くないため、ベンチの向きを変えるのは難しいと考えています。

鉄柱の扱いについては、当初誘導ブロックを迂回させるように配置していましたが、バリアフリーガイドラインにおいて、視覚障害の方が、方向が分からなくなるため、迂回させないとの定めがあるため、これに基づき、現在の配置に改善しています。鉄柱自体がバリアになっていることは認識しており、今後は、注意喚起を行うような対応をしたいと考えています。

● ホーム上に十分なスペースがないようであれば、ベンチを撤去するという判断もあるのではないのでしょうか。

鉄柱の取扱いについては、視覚障害の方から見て大丈夫なのでしょうか。

● ベンチについては、お年寄りからすると少しの時間でも座ることができると助かるため、必要だと思えます。

△ 視覚障害者協会の委員の方が御欠席ですので、後日、鉄柱の取扱いについては聞き取りを行います。

● 鳥羽街道駅には、非常事態を知らせるディスプレイを改札口に設置するとありますが、ホームにも危険を知らせる文字板をつけることができないのでしょうか。

△ ホームにも文字が流れる電光掲示板を設置しています。

- 資料 1 は、意見の内容と写真が番号で対応できるように整理いただきたいです。  
停電時等の非常事態には非常灯が必要との指摘をしましたが、設置を検討するのか、設置しないのか、資料 1 の回答として複数ありますが、どれが正しいのでしょうか。  
非常通報装置の位置が日本民営鉄道協会の通達に準拠して設置しているとのことですが、通達を根拠にするのではなく、通達を基に事業者ごとにより良いものにしていくという意識が必要ではないでしょうか。
- △ 非常灯については、他の駅と同様にランタンのようなものを置くようにし、利用者を誘導することにしています。  
日本民営鉄道協会の通達の内容については、鉄道事業者の意見を踏まえて定めています。必要に応じて問題提起していく必要があります。  
資料 1 については、今後気をつけていきたいと思います。
- 先程のランタンの話がありましたが、駅には駅員が常駐しているのでしょうか。
- △ 鳥羽街道駅では一部の時間帯で駅員が不在となっています。
- 常駐していないのであれば、階段など危険な箇所については非常灯の設置を前向きに検討いただけないでしょうか。
- トイレの拡幅は困難との回答がありましたが、私のような大型の車椅子を利用する者は利用できないので、スペースを広くできないのでしょうか。
- △ 今回、多機能トイレの整備を予定しています。多機能トイレは、基準に基づき、十分なスペースを確保する予定です。
- 多機能トイレの整備の際には、規格に準拠した上で大型の車椅子を利用する者もいることを考慮していただくようお願いいたします。

## (2) 鳥羽街道駅及びその周辺道路等のバリアフリー化の概要（案）

《会議資料》資料 3 鳥羽街道駅及びその周辺道路等のバリアフリー化の概要（案）に対する  
市民意見募集（パブリックコメント）について

- ホームの幅については、今回のバリアフリー化で拡げる前提で検討しているのでしょうか。
- △ 淀屋橋方面の改札口や各ホームのスロープについては整備しますが、ホームの拡幅については、スペースがないため困難です。
- 駅周辺に広場や駐輪場を整備する予定はあるのでしょうか。現在、JR 稲荷駅、京阪伏見稲荷駅は大変混雑しています。混雑解消のために今後のこの駅の活用の仕方を考えるべきではないでしょうか。  
この地区は、勾配が大きく、通行しにくい道路がたくさんあります。今後、更に高齢化が進んでいき、老老介護が増えることを考えると、現行のバリアフリーの基準を満たせばいいということではなく、歩行者の視点に立って、バリアフリーの基準をより良い形に変えていくことも考えるべきではないでしょうか。
- △ 資料中（図面）に示されている広場整備予定地について、昨年度深草支所が中心となって地元の方々とワークショップを開かれ、広場の整備案を作成されています。その案をもとに来年度整備予定であり、現在設計を行っているところです。合わせて、

駐輪場の整備も予定しています。

- 先日、十条通と本町通の交差点で車とバイクの事故があり、警察の到着までに時間がかかりました。周辺のエリアも含めて交通渋滞については継続して検討いただければと思います。

### (3) 鳥羽街道駅及びその周辺道路等についての「バリアフリー移動等円滑化基本構想」の取りまとめの方向性について

《会議資料》資料4 鳥羽街道駅及びその周辺道路等についての「バリアフリー移動等円滑化基本構想」の構成(案)

#### 《質疑応答》

特に意見なし

#### (4) その他

- 資料1の回答で駅員が対応することが書かれていますが、駅員が不在の時間帯がある中で、どのような対応を考えているのでしょうか。
  - △ 駅に呼出インターフォンや非常ボタンを設置し、駅員が不在の時間帯にも、他の駅の駅員と話ができるようになっています。  
駅構内の危険箇所については、日々の注意喚起などで対応していきたいと考えています。
- 鳥羽街道駅の周辺は、本町通の幅員が狭いことが大きな問題と考えています。市はこの駅周辺をどのような位置付けで整備しようと考えているのでしょうか。
  - △ 本町通については、道路の拡幅のような抜本的な対策は困難ですが、十条通より南側では路側帯のカラー化による歩行空間の明確化を実施しており、本町通の連続性を考慮しながら、十条通より北側についても整備を進めていこうと考えています。  
駅についても、JR・京阪の東福寺駅、JR稲荷駅、京阪伏見稲荷駅は、多くの方に御利用いただいていることから、そういった状況も踏まえて、バリアフリー化ができていなかった鳥羽街道駅の整備をしっかりと進めていこうと考えています。
- 事務局の説明の中で十条通と本町通の交差点にあった電柱がなくなったとありましたが、埋設したのでしょうか。
  - △ 埋設したのではなく、交差点の車道付近にあった電柱を歩道の端に移設したものです。
- 観光客や市内在住の外国人の方が増えてきている中で、多言語の案内表示が必要ですが、駅によって、設置した時期によって同じような設備でも表示する言語が異なる場合があります。スペースの関係もあるため、必ずしも、全ての設備を4箇国語表記までする必要はないと思いますが、国の多言語表記に係るガイドンス等を参考にするなど、施設の管理者として一定の考え方を持って、今後の整備の中で何が必要でどういった方向性で進めていくのかを御検討いただければと思います。
- 前回の意見を短時間でまとめ、市が既に整備をしているところも含めて丁寧に対応しているのは非常にありがたいと思います。今後も要望が出ないと実現しないと思います。事務局には引き続き、御努力いただければと思います。
- ハード面のバリアフリー化はもちろん重要ですが、構造上等の理由でなかなか難しい場合があるため、そのような場合には、利用者同士が助け合う心のバリアフリーが重要と考えています。

最近スマートフォンを見ながら歩く人も多く、困っている人に気づかないことがよくあると思います。駅員の方から声掛けだけでなく、利用者同士の助け合いや見守り等が行き届けばと考えます。

パブリックコメントは一人でも多く意見を出していただくとよりよい計画になると考えます。

### 3. 閉会

以上